



第12号

平成21年(2009年)10月25日(日)発行
発行元: みやけじま『風の家』
(三宅島災害・東京ボランティア支援センター)
発行責任者: 坂上 幸一郎
東京都三宅島三宅村阿古532-1
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所併付)
電話: 04994-5-1470 FAX: 04994-5-1471
E-mail: miyake_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやけじま『風の家』でくりかえされる日常の中で、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。
多くの方が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。
ただそれだけを見つめて…

〽〽〽 天高く 馬肥ゆる秋

ついこの間まで「お祭り」や「お盆」と夏の行事の忙しさに過ごしていたと思いきや、もうすっかり『秋』が訪れましたね。

お天気の良い空を見上げると、そこには秋の雲。

ツブキの花のつぼみも膨らみはじめて、もう少しすると可愛い黄色の花を魅せてくれることでしょう。『風の家』のみんなは、夏の疲れもなく元気に過していますよ！



そんな秋の中でも、かわいい実りの秋です見てください。立派な「ヤマブドウ」。

『風の家』の運営協力員の方のお宅で生ったものです。

食べてびっくり・・・ちょっと酸っぱさがあったとっても美味しいブドウでした。

まさしく実りの秋ですね。三宅島の豊かな大地がもっている力を感じました。

「秋」といえば・・・「芸術の秋」もあれば「読書の秋」、「食欲の秋」などに例えられるように何をするにも最適な季節ということなのでしょう。

『風の家』では「運動(スポーツ)の秋」がやってきました。

これは、毎月行われている『風の家』の運営協力員の話し合いの場で提案されたことを発端に始まりました。これからの季節、寒さを迎えるとどうしても体を動かす機会が少なくなります。そんな時にお家でも気軽にできる体操をと「足元気体操」を始めています。



最初はなかなか難しく、また普段は動かすことのない体の使い方の方に戸惑いながらでしたが、今ではすっかり慣れて楽しく体操しています。

「ちょっと体を動かすだけで、こんなに気持ちがいいんだねえ!」「なんだかスッキリしたよ」「これならお家でも簡単だからやってみよう!」と張り切ってみんなががんばっています。

みなさんにとってはどんな「秋」ですか？

(^J) 敬老会に参加して

10月17日(土)に行われた『敬老の会』に今年もお伺いしてきました。

お天気は上々。会場は満員の大賑わいでした。今年は100歳を迎えられる方が3名もいらっしやり、村長さんからの心の込められたお祝いのご挨拶の後、会場からの盛大な拍手が送られました。そして、毎年お楽しみの各地区のクラブを中心とした発表が始まりました。



歌や踊り、獅子舞まで飛び出してどの地区の発表もとても熱の込められた演技を披露されていました。

また、会場内ではあじさいの里に居られる方々も足を運ばれるなど、「久しぶりだなあ!」「元気だったか?」と再会を喜ぶ声があちらこちらで聞かれ、やさしい笑顔があふれていました。

!(^)! ようこそ 三宅島へ

3回目を迎えた「モーターサイクルフェスティバル」。たくさんのライダーの方々も今年も三宅島に来てくれました!開会式の会場では「こんにちは!」「ありがとう!」と島の人々とライダーの方々の声が明るく飛び交います。その声はもう、初めて合った人同士の声ではなく「また来たよ!」そして「お帰り!」という声に変わり、3回続いてきた足跡を確かに感じる事が出来ます。



(^)/ 「風の家」一緒にしませんか!!

『風の家』では、日頃の活動の中で、「ボランティア」としてご一緒にいただける方を、引き続きお待ちしております。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。



目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出会いは、「くらし」の中でとても大切なものだから…

ぜひ、お気軽においでください。

(+ +) 引き続き 注意しましょう

村内放送など「新型インフルエンザ」に対する予防への取り組みが広く呼び掛けられています。

手洗いやうがいを中心に、体調管理に気をつけて元気に乗り切りましょう。

(^)/ ご支援いただきありがとうございます

みやけじま『風の家』は月曜から土曜までの、朝10時から夕方3時まで開設しています。

(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

お近くにお越しの際は、どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。